市民のひろば

掲示板

◆びらふマルシェを開催します！

びらふマルシェは、『新たな香北町美良布の魅力』となり多くの方が地域を訪れるきっかけになることを目指し、集落活動センター美良布で活動する地域住民が企画・開催しています。

当日は、アクセサリーやお弁当・お菓子の他、キッチンカーの出店もあり、18店舗が集まります。また、香北中・大栃中・県内高校の制服、体操服の回収・有償提供を行う『制服リユースプロジェクト』も併せて行いますので、ぜひお越しください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大・まん延状況により、開催内容が変更・中止となることがあります。

【開催日時】 6月19日(日)10時～15時

【場所】 集落活動センター美良布 交流スペース

【問い合わせ先】 美良布地区集落活動センター推進協議会 事務局 びらふマルシェ担当 三好 ☎52・9708（平日9時～16時）

◆香北町良心市お試し出荷者募集

香北町良心市利用組合では、市内で野菜を栽培している方を対象に、お試し出荷者を募集します。菜園で採れた新鮮な野菜を、良心市で販売してみませんか。

【対象】 香美市で栽培をしている方
※高知県農協（JAバンク）に口座が必要です。

【応募締切】 7月31日

【お試し出荷期間】 手続き完了後～7月31日
※期間中は入会金・年会費が無料、販売手数料のみで出荷可能。

【場所】 香北町良心市（高知県農協香北支所前）

【問い合わせ先・申込先】 香北町良心市店頭

◆JICA海外協力隊募集

独立行政法人国際協力機構（以下『JICA』という。）は、『JICA海外協力隊』の2022年春募集を行います。

世界約70カ国で、①計画・行政②公益・公共事業③農林水産業④鉱工業⑤エネルギー⑥商業・観光⑦人的資源⑧保健・医療⑨社会福祉の9分野、約120職種の仕事が必要とされています。

あなたの技術・経験を開発途上国で活かしてみませんか？現地の人々と協働しながら、人づくり、国づくりに協力します。

詳しくはウェブ上でご確認ください。

【募集期間】 5月20日(金)～6月30日(木) 日本時間 正午締切
※原則ウェブ応募となります。

【応募資格】 生年月日が1952年7月2日から2003年1月2日までの日本国籍を持つ方

【問い合わせ先】 JICA海外協力隊募集事務局 045・410・8922 **※平日10時～12時、13時～19時**
JICA四国 087・821・8825 **※平日9時30分～17時30分**

HP https://www.jica.go.jp/volunteer/

おたんじょうびおめでとう

今月満1～3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

ご応募をおまちしています

©やなせたかし ゆずぼうや

※Ⓣは土佐山田町、Ⓚは香北町、Ⓜは物部町です。

申し込みは誕生月の前月1日まで。
問 総務課 ☎53-3112

神氏ちゃん その178

（山田高校マンガ部）

香美史探訪記

新 第33回 新改豪族八木氏

平安末期、『土佐日記』に登場する『やきのやすのり』は、八木康教で香長小南西部、長宗我部地検帳に「築地七町歩」が記載されており、八木原が八木氏の土居（住居屋敷）で、土塁を巡らせた大屋敷を構えていたと考えられる。須江村米ヶ内築地内にも土塁と土地区画では館跡がある。八町一反のこれも八木一族のものらしい。位置から奈良時代の官道北山道の駅家であった可能性もある。

八木氏は、奈良時代から、新改（新蚊居）から南国市久礼田の山を背に南を受け、新改川の恩恵を受ける一帯を支配していたようで、窯業と農業を抑えた都の香のする豪族らしい。

須江村は、陶器の陶が本来の字で、陶工が国分寺を立てるため、天平十三年（741）には、新改地区に登り窯を築いて製瓦をし、素焼き陶器は、埴輪から中世まで使われた。陶土と燃料松材の関係で選ばれたものと考えられる。

このように、新改地区は、南国市久礼田と共に古代から集落が発達していた。ここを支配していたのが、八木氏と考えられる。本山町寺家の「若一王子宮」、本山の「十二所神社」は、八木氏によって勧進されたらしい。

（「土佐国編年紀事略」「長徳寺文書」から）

●大豊町寺内の「豊楽寺」の薬師如来体内銘に仁平元年（1151）八木氏の名がある。このことで、熊野系神社の勧進が八木氏によって行われたようである。

●新改西谷観音堂の阿弥陀如来坐像墨書に、永徳二年（1382）、八木伊豆守康綱が残り、修復の旦那とある。「康綱は、康教の末孫である」鹿持雅澄説。

●長宗我部元親の時代に新改は、比江城の比江山掃部助親興の配下だったらしく、有力家臣に八木氏の名は見えないが、楠目城域には八木の地名が残る。

●文政八年（1825）、上改田の広幡八幡宮の神主に八木出雲正源康道の名がある。現在、新改地区に八木姓は無いが、転出したものであろう。

このように、八木氏は、新改から大豊町や本山町にまで影響力を持った平安時代を通じた大豪族で、学問を修め和歌にも秀でた家柄であったと推察される。

（香美市文化財保護審議会・岡村）

▶広幡八幡宮の棟札には神主八木出雲正源康道の名が書かれている

ただいま留学中

No.169

ハン イー（韓 毅） 中国／浙江省

香美市の皆さん、こんにちは。浙江省杭州市にある浙江大学の韓毅と申します。

私は浙江大学「福祉養老製品連合研究開発センター」で働いています。高齢者メディカルケア分野にて先進的技術のある日本で、中国医療環境を改善したいという考えを持ち、高知工科大学博士後期課程でロボット工学を勉強しています。

今年日本に留学する予定の姪と日本語を一緒に勉強しています。

今日は杭州を紹介していきます。杭州市は経済発達の大都市ですが、また自然と文化的景観も有名です。浙江省最大の河川「銭塘江」が杭州市内に流れています。「銭塘江」沿岸には公園、住宅区、大学があり、春には公園にきれいな桃の花が見られます。浙江大学のキャンパスは銭塘江に隣接しています。

杭州市で最も有名な観光エリアは西湖です。西湖はとても大きく、西湖を回ると「断橋」、「雷鋒塔」、「蘇堤」などの観光地があります。「断橋」は西湖にまたがる橋で、長い歴史があります。冬に雪が降り、橋の雪が朝日で溶けたとき、陰の方に雪が残っている「断橋残雪」がとても美しいです。

「雷鋒塔」は仏教寺院で、広く伝わる民間伝説の物語「白蛇伝」がここで起きました。「蘇堤」は北宋時代の文学者と書画家の蘇軾が築いた堤防で、多くの詩人が蘇堤をテーマに詩句を書いたものです。

2023年に延期されたアジア競技大会が杭州で開催されるとき、皆さんが杭州に来ることを楽しみにしています。